

(イ) 女性の活躍の場の拡大

①家庭における男女共同参画の推進、②地域における子育て支援の充実

【概要・目的】

- ・家庭において、女性が働くことへの理解や男性の家事・育児の分担が進むよう、こうち男女共同参画センターソーレにおける広報・啓発の取り組みを強化する。
- ・女性が子育てしながら安心して働き続けられるよう、様々な保育サービスの充実や、地域の子育て力を活かした支え合いの取り組みにより、柔軟に対応できる子どもの預け先を拡大する。

平成 29 年度の当初計画 (P)

平成 29 年度の取り組み状況 (D)

課題と平成 30 年度の取り組み (C、A)

1. 家庭における男女共同参画の推進

- (1) 男女共同参画センターソーレにおける広報・啓発の強化
  - ・男性対象講座、講演会、情報紙、メルマガ等による啓発（通年）
  - ・男女共同参画推進月間講演会
  - ・男性の家事・育児・介護の啓発ポスターの掲示

2. 地域における子育て支援の充実

- (1) ファミリー・サポート・センターの県内全域での普及に向けた支援の充実
  - ①新たなセンターを開設する（3か所）
    - ・市町村訪問（5月～）
  - ②会員を増やす
    - ・子育て支援員研修（ファミリーサポートセンターコース）の開催（7月）
    - ・月1回のテレビ広報番組の放送、啓発リーフレットの作成・配布、県広報媒体による広報（通年）
- (2) 多機能型保育事業の推進 [再掲]【幼保支援課】
- (3) 放課後の子どもの居場所づくりと学びの場の充実 [再掲]【生涯学習課】

1. 家庭における男女共同参画の推進

- (1) 男女共同参画センターソーレにおける広報・啓発の強化
  - ・男性対象講座、講演会、情報紙、メルマガ等による啓発（通年）
  - ソーレ・スコープ 80号（4月）、81号（7月）82号（10月）の発行
  - Facebook を7月から開始
  - ラジオ放送による広報啓発（5/23、12/26 男女共同参画、ソーレについて）
  - 作成している啓発パネルの貸し出しの実施
  - 男性応援講座「会話がちょっと苦手な男のためのコミュニケーション術」の開催（9/10、12名）
  - 男女共同参画推進月間講演会を男性の仕事中心の生き方を見直すことをテーマに開催
  - 演題「男が働かない、いいじゃないか！」講師：大正大学准教授 田中俊之氏
  - 6月11日開催 216名参加
  - 男性の家事・育児・介護の啓発ポスターの掲示
  - 男女共同参画推進月間にあわせて5/22～6/30に路面電車1両の車内において掲示
  - ソーレまつり2018記念講演会 「シングルファーザーの子育て日記」
  - 俳優：宮川一朗太氏（1/28予定）
  - ・男性家事講座、料理教室（2/4予定）

2. 地域における子育て支援の充実

- (1) ファミリー・サポート・センターの県内全域での普及に向けた支援の充実
  - (1) ファミリー・サポート・センター事業の充実
    - ①新たなセンターを開設する
      - ・高知版ファミリー・サポート・センターの開設（南国市10月、安芸市12月）
      - ・首長等訪問による働きかけ（16市町訪問）
    - ②会員を増やす
      - ・子育て支援員研修の開催（7/29、19名）
      - ・月1回のテレビ広報番組の放送（7月～）
      - ・子育て応援団「すこやか2017」でのPR（7/22・23、698名からアンケート回収）
      - ・ファミサポアドバイザー研修（9/4、1/25（予定））
      - ・子育てサークル交流会での制度の周知と意見交換（10/19、24）

参考：各センターの会員登録数（H29.12月末時点）

設置市町村 (開設時期)	依頼会員	援助会員	両方会員	計	活動件数 (H29.4～11月)
高知市 (H16.10)	802 (785)	428 (410)	65 (66)	1,295 (1,261)	5,759
佐川町 (H28.2)	42 (33)	47 (45)	0 (0)	89 (78)	194
香南市 (H28.11)	26 (8)	25 (19)	1 (1)	52 (28)	89
南国市 (H29.10)	13	17	2	32	1
安芸市 (H29.12)	14	8	1	23	0

※（ ）内は H28.12 月末時点の数値

課題

1. 家庭における男女共同参画の推進

- (1) 男女共同参画センターソーレにおける広報・啓発の強化
    - ・男性、若者の講座等への参加者の確保
- ⇒Facebook、情報誌等を活用した積極的な情報発信  
大学と連携してキャリア、男女共同参画等に関する講座を実施

2. 地域における子育て支援の充実

- ・ファミリー・サポート・センター事業の充実
- ①新たなセンターを開設する
    - ・ニーズが顕在化しておらず、市町村において事業実施に踏み切れていない状況
    - ・想定される事業実施(委託)先の人員体制が不十分
  - ②会員を増やす
    - ・既存のセンター及び新規開設を検討する市町村における会員(特に援助会員)の確保

平成 30 年度の取り組み (予定)

1. 家庭における男女共同参画の推進

- (1) 男女共同参画センターソーレにおける広報・啓発の強化
  - ・Facebook、メルマガ、情報誌等を活用した積極的な情報発信
  - ・男女共同参画に関する講演会等の開催
  - ・男性家事講座、夫婦参加型の男性応援講座の実施

2. 地域における子育て支援の充実

- 【拡充】・ファミリー・サポート・センター事業の充実
- ①新たなセンターを開設する
    - ・未実施市町村への訪問による働きかけ
    - ・市町村担当課長会議等での高知版ファミリー・サポート・センター補助金の周知
    - ・イベントやCMなどによる広報
  - ②会員を増やす
    - ・啓発リーフレットの配布や、県及び市町村の広報媒体によるPR
    - ・研修を受けやすくするための近隣市町村による援助会員研修の合同実施
    - ・イベントやCMなどによる広報(再掲)

【平成 31 年度末の目標 (H29 到達目標)】

- ・男女共同参画関連講座への男性参加者数 = H31 : 400 人 <H29:350 人>
- ・ファミリー・サポート・センター事業の実施市町村数 = H31 : 13 市町村 <H29: 6 市町村>

【直近の成果】

- ・男女共同参画関連講座への男性参加者数 : 177 人 (12月末時点)
- ・ファミリー・サポート・センターの開設 : 5 か所 (12月末現在)  
(高知市、佐川町、香南市、南国市、安芸市)

(イ) 女性の活躍の場の拡大

③多様なニーズに応じた就労支援、④男女がともに働きやすい職場づくり

【概要・目的】

- ・女性が出産や子育てのために一定期間仕事を離れても、希望すれば、それまでのキャリアを活かして再就職・復職できるよう、多様なニーズに応じたきめ細かな就労支援を実施する。
- ・企業等職場において、子育てしながら働くことへの理解が進むよう、官民協働で仕事と家庭生活が両立できる職場風土の醸成に取り組む。

平成 29 年度の当初計画 (P)

3. 多様なニーズに応じた就労支援

- 高知家の女性しごと応援室によるきめ細かな就労支援
  - ・女性の就労支援を目的としたセミナーの実施(6月、9月、11月、1月)
- 福祉人材センター・福祉研修センターにおける介護・福祉職場への就労支援
  - ・福祉人材センターと研修センター・ハローワーク等との連携強化
  - ・多様な働き方を可能とする職場づくり(業務の切り出しセミナーの開催、業務の切り出し検討・実践委員会の開催)
- 子育て中の女性の再就職支援〔新規〕
  - ・潜在的な労働力を活用していくため、求職活動を実施していない子育て女性を対象に、働くことに一歩踏み出してもらうためのイベントを県内3ヶ所で開催(10～12月)

4. 男女がともに働きやすい職場づくり

- 民間企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進【少子対策課】
  - ・高知家の出会い・結婚・子育て応援団の取り組み(別途記載)
- 経済団体と連携した女性の登用・継続就業のさらなる促進
  - ・管理職層・働く女性対象のセミナー等の開催(通年・6回)
  - ・女性活躍推進法に定める「一般事業主行動計画」の策定支援のため、労働局と連携した説明会の開催(7月)
  - ・女性活躍推進法に定める「一般事業主行動計画」策定のための専門家派遣等(5社以上)
- 職場における女性リーダーの育成〔新規〕
  - ・女性リーダー応援塾(女性の次期リーダーとなる人材を育成する研修年4回開催予定)
- 女性農業者の活躍促進〔新規〕
  - ・県域及び地域講座年間開催計画作成(4月～5月)
  - ・はちきん農業大学開校式開催(6月)
  - ・経営改善目標作成支援(7月～9月)
  - ・各種講座・先進事例調査・実証調査(7月～2月)
- ワークライフバランス推進企業認証制度の推進〔再掲〕【雇用労働政策課】

平成 29 年度の取り組み状況 (D)

3. 多様なニーズに応じた就労支援

(1) 高知家の女性しごと応援室によるきめ細かな就労支援 (H29は11月末時点)

	開催日数	新規相談者数	相談件数	就職者数	求人基本契約社数	求人票受理件数
H26	152日	196人(1.3人/日)	526件(3.5件/日)	44人(0.29人/日)	—	—
H27	196日	484人(2.5人/日)	1,344件(6.9件/日)	138人(0.70人/日)	81社(0.41社/日)	1,151件(5.9件/日)
H28	193日	427人(2.2人/日)	1,238件(6.4件/日)	165人(0.85人/日)	30社(0.16社/日)	1,543件(8.0件/日)
H29	133日	296人(2.3人/日)	910件(6.8件/日)	111人(0.83人/日)	21社(0.16社/日)	1,628件(12.2件/日)
計	674日	1,403人(2.1人/日)	4,018件(6.0件/日)	458人(0.68人/日)	132社(0.20社/日)	4,322件(6.4件/日)

- ・女性の就労支援を目的としたセミナーの実施(6/10:30名、9/7:18名、11/13:14名、1/20(予定))
- (2) 福祉人材センター・福祉研修センターにおける介護・福祉職場への就労支援
  - ・福祉人材センターでのマッチング(11/30就職者数、180名(うち女性135名))
  - ・潜在的有資格者の再就職支援(11/30就職者数、40名)
  - ・ハローワークでの就職相談会・セミナーの開催(11月末48回開催、参加者356名)
  - ・職場体験の実施(11/30、40名体験(うち就職10名))
  - ・「中高年齢者等就業拡大事業」事業所向けセミナー開催(7/26、参加18事業所、35名)参加事業所(5法人8事業所)による検討会開催(9/5、9/26、10/20)参加事業所による求職者向け説明会開催(5法人21名参加(10/21～26)参加者のうち7名が職場体験中、2名の雇用が決定(11月末現在))
- (3) 子育て中の女性の再就職支援
  - ・お母さんのための再就職準備イベント開催(10/24:高知市57名、11/25:四万十市11名、12/11:安芸市15名)

4. 男女がともに働きやすい職場づくり

- 民間企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進
  - ・高知家の出会い・結婚・子育て応援団の取り組み(別途記載)
- 経済団体と連携した女性の登用・就業継続の促進
  - ・管理職層・働く女性対象のセミナー等の開催、女性活躍推進法に定める「一般事業主行動計画」の策定支援のため、労働局と連携した説明会の開催

区分	開催時期	委託先	講師	参加者数
ミドルセミナー	11/27	商工会議所	松下直子氏	12人
	12/11		菅瑛祐子氏、中橋恵美子氏	17人
高知家の女性活躍応援塾	9/6、10/26 12/13、1/26			
事業主行動計画策定説明会	7/19		小林洋子氏	67

- 職場における女性リーダーの育成
  - ・女性リーダー応援塾
    - 第1回:7月4日9名出席 意見交換会
    - 第2回:9月8日8名出席 企業訪問
    - 第3回:10月5日5名出席 社内実践報告会
    - 第4回:1月25日(予定)
- 女性農業者の活躍促進
  - ・はちきん農業大学での県域及び地域講座年間開催計画作成(4月～5月)
  - ・はちきん農業大学開校式開催(6/16女性農業者111名、入校者〔聴講生含む〕105名)
  - ・経営改善目標作成支援(7月～9月):50プラン作成
  - ・各種講座・先進事例調査実施(6月～12月:72講座)
    - 【県域】農業機械講座(7/6、27、8/31:26名)、労務管理講座(6/16:122名)
    - 【地域】経営管理、新技術、農業施策講座など(6～12月:9地域で開催)

課題と平成 30 年度の取り組み (C、A)

課題

3. 多様なニーズに応じた就労支援

- 高知家の女性しごと応援室によるきめ細かな就労支援
  - ・労働供給の増加策として、さらなる女性の活躍が求められており、応援室の持つノウハウや女性の就労に対するニーズを活かす仕組みが必要
- 福祉人材センター・福祉研修センターにおける介護・福祉職場への就労支援
  - ・求職者の掘り起こしの強化 ⇒ 効果的な広報方法の検討
- 子育て中の女性の再就職支援
  - ・来場者の満足度も高く、このイベントが働く意欲の向上につながっており、より多くの子育て女性の参加につなげる

4. 男女がともに働きやすい職場づくり

- 民間企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進
  - ・高知家の出会い・結婚・子育て応援団の取り組み(別途記載)
- 経済団体と連携した女性の登用・就業継続の促進
  - ・女性だけでなく、男性も対象とした啓発が必要
  - ・企業にとって行動計画を自主的に策定するメリットが乏しく、作業の負担感もあり、これまでの支援が行動計画策定に結びついていない
- 職場における女性リーダーの育成
  - ・多くの方に参加していただくための広報・啓発
- 女性農業者の活躍促進
  - ・女性農業者のニーズや経営発展段階に応じた講座、講師の検討

平成 30 年度の取り組み (予定)

3. 多様なニーズに応じた就労支援

- 高知家の女性しごと応援室の機能拡充によるワンストップ支援の開始
  - ・再就職支援イベントとの連携による求職者の掘り起こし
- 〔新規〕出張相談による東部、西部地域への就労支援拡大
- 〔新規〕求人開拓部門新設による働きやすい職場環境の整備
- (2) 福祉人材センター・福祉研修センターにおける介護・福祉職場への就労支援
- 〔拡充〕多様な働き方を可能とする職場づくり(介護現場における補助的な業務を切り出し、中高年齢者や主婦といった多様な人材が参入できる雇用の場づくりを本格実施)
  - ・福祉人材センターと関係機関の連携によるマッチングの推進(未経験者向けセミナーの開催やハローワークとの連携による就労支援)
- 〔拡充〕(3) 子育て中の女性の再就職支援
  - ・民間が実施する集客力の高いイベント等との連携

4. 男女がともに働きやすい職場づくり

- 民間企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進
  - ・高知家の出会い・結婚・子育て応援団の取り組み(別途記載)
- 経済団体と連携した女性の登用・就業継続の促進
  - ・男女がともに働きやすい職場づくりに向けたセミナー等の開催
- 〔新規〕経済団体等への行動計画策定の働きかけや事業主行動計画策定実践塾の実施
- (3) 職場における女性リーダーの育成
  - ・女性リーダー応援塾の実施(7～11月)
  - ・様々な機会を捉えての広報・啓発
- (4) 女性農業者の活躍促進
  - ・農業機械講座の開催回数増及び内容の充実
  - ・労務管理、新技術をテーマにワンランクアップした講座の開催

【平成 31 年度末の目標 <H29 到達目標>】

- ・高知家の女性しごと応援室における就職率(3か月以内に就職を希望する相談者の就職率) = H31:60% < H29:H28年度の実績(58.5%)以上 >
- ・女性活躍推進法に定める事業主行動計画策定企業数(常時雇用労働者101人以上300人以下の企業) = H31:50社 < H29:20社 >

【直近の成果】

- ・高知家の女性しごと応援室における就職率(3か月以内に就職を希望する相談者の就職率):62.1%(12月末時点)
- ・女性活躍推進法に定める事業主行動計画策定企業数(常時雇用労働者101人以上300人以下の企業):8社(12月末時点)